

第3回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

～膜を用いた水素分離の最前線～

開催案内

一般社団法人 先端膜工学研究推進機構

平素より当会にご尽力を賜りまして誠に有り難うございます。

これまで先端膜工学研究推進機構としまして、第1回「医薬・バイオプロセスにおける膜利用の現状と将来展望」、第2回「カーボンニュートラルに挑む二酸化炭素分離膜開発と今後の展望」を、特定テーマフォーラムのテーマとして開催してまいりました。今回は「膜を用いた水素分離の最前線」をテーマとさせていただきます。

現在、我が国は、年間で12億トンを超える温室効果ガスを排出しており、2050年までに、これを実質ゼロにする必要があります。国は2050年カーボンニュートラルの実現、また、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、検討を進めています。(環境省 HP)。目標達成に向けて、省エネルギー、エネルギー源の多様化等、炭素ガス排出量抑制策の総動員が必要とされています。再生可能エネルギーを用いて発電した電力を水素に変換利用することが、エネルギーの有効活用や炭素ガス排出削減につながります。

今回、産学の各業界において水素分離膜の実用化を目指して精力的に取り組んでおられる講師の方々をお迎えし、会員の皆様と突っ込んだ議論ができるようなフォーラムとさせていただきたいと思っております。尚、現時点におきましても収まる心配が無い新型コロナウイルスの影響より、Zoomにて開催させていただきたいと考えております。オンラインミーティングの接続準備をしていただきたくお願い申し上げます。大変お忙しい中恐縮ですが是非ご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。

日 時：令和4年 12月 22日(木)13:30～17:30

(司会進行 北河享 科学技術イノベーション研究科/先端膜工学研究センター)

プログラム：

13:30-13:35 「開会挨拶」 先端膜工学研究推進機構長 松山秀人 氏

13:35-14:15 「水素分離用中空糸炭素膜の開発と応用」
産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 主任研究員 吉宗美紀 氏

14:15-14:55 「水素分離用ポリアミド膜モジュール」
東レ株式会社 地球環境研究所 主任研究員 広沢洋帆 氏

14:55-15:10 (休憩・時間調整)

15:10-15:50 「ゾルゲル法によりマイクロポーラス構造を制御したシリカ系多孔膜の水素透過特性」 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 金指正言 氏

15:50-16:30 「CVD シリカ膜による水素分離の現状とその応用」
芝浦工業大学 工学部 教授 野村幹弘 氏

16:30-17:30 総合討論 モデレーター

先端膜工学研究センター/科学技術イノベーション研究科 教授 吉岡朋久 氏

*各ご講演は質疑応答込みで40分を予定しています。

問合せ先

e-mail: eng-membrane@research.kobe-u.ac.jp

電話：078-871-6954 先端膜工学研究推進機構 (進藤)

以上